

満窓明月満簾霜

満窓の明月 満簾の霜

被冷燈殘拂臥牀

被冷やかに 燈殘して臥牀を拂ふ

鶯子樓中霜月夜

鶯子樓中 霜月の夜

秋來只爲一人長

秋來 只だ一人の爲に長し

(傍線 筆者) (新釈漢文大系『白氏文集三』二八三頁)

(注二) 拙稿「道真の詩「早春侍宴仁壽殿 同賦認春應製」「對鏡」の二詩をめぐって―道真の『白氏文集』か

らの撰取態度の一考察(その六)」

「国語国文学研究」二六号(熊本大学文学部国語国文学会)

(注三) 岩波日本古典文学大系『菅家文章・菅家後集』三〇三頁

(注四) 日本漢詩人選集―『菅家道真』 小島憲之・山本登朗著 一五二―一五四頁

(注五) 岩波日本古典文学大系『菅家文章・菅家後集』七三五頁・補注